

AI機能（第1弾）提供開始のお知らせ

対象となるお客様

以下の製品をご利用中のお客様が対象となります。

- Opt.one3（レセプトカルテパッケージを除く）
- Think3（レセプトカルテパッケージを除く）

AI機能の概要

この度、弊社が開発する「AI型電子カルテシステム」のAI機能第1弾としまして、以下の機能の提供を開始しましたので、お知らせ致します。

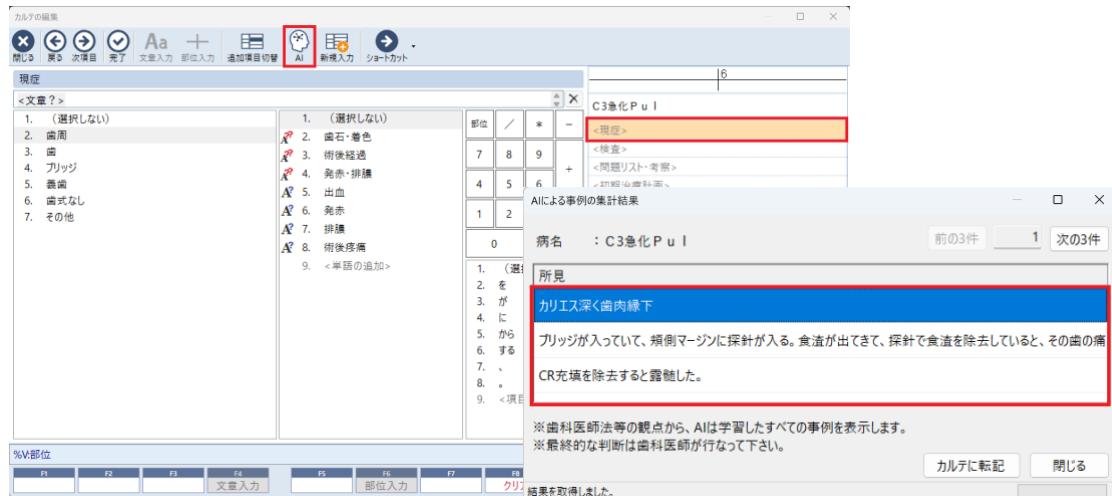
- ※ 以下のAI機能は、**お試し版として2024年4月中旬までは無料でご利用いただけます。**
- ※ **4月中旬以降につきましては、オプション（有料）でのご提供となる予定です。**（価格や提供時期等の詳細が決まりましたら、あらためてご案内させていただきます。）
- ※ AI機能は今後続々登場予定ですが、いずれにおきましても、**その利用状況等を鑑みつつ、適宜機能の追加や変更、もしくは機能の提供自体を終了する場合があります。**

AI機能① 所見AI（特許取得技術）

- 病名に関連性のある所見（または現症）の事例をAIが提示します。
- 所見情報の言語化、文章化は実は大変な作業で、担当者によって情報量などにもバラつきが生じてしまいます。
- 所見AIが提示する**客観性のある所見の事例を参考に、誰でも簡単に充実したSOAP式カルテが作成できます。**

<使用方法>

[カルテの編集]画面で[部位]と[病名]を入力後、SOAPの[O]または[現症]に移動し、画面上部にある[AI]ボタンをクリックすることで、AIによる所見の事例を確認できます。



よくあるご質問（FAQ）

Q：[カルテの編集]で[現症]（または[O]）を選択していますが、[AI]ボタンが表示されません。

A：お使いのカルテシステムが「デンタルPOSパッケージ」または「電子カルテパッケージ」であることをご確認下さい。また、カルテシステムのバージョンを最新のものにバージョンアップして下さい。

Q：[AI]ボタンを押下しても結果が表示されない、もしくはエラー文が表示されてしまう。

A：ネットワークルーター等にホワイトリストを設定して運用されている医院様では、以下の接続先に対するアクセスを許可していただく必要があります。

<https://api.white-ai.com>

Q：AIの結果が3件しか表示されませんが、他の事例は確認できますか？

A：現在のところAIは事例を3件ずつ提示する仕様となっております。他の事例を確認したい場合には、画面右上の[次の3件]を押下することでご確認いただけます。

Q：AIが提示する事例の中で明らかにおかしいものがある。

A：AIは様々な病名に関連する事例を学習していますが、歯科医師法等の観点から、AIは入力された病名以外の事例も含めたすべての事例を提示する仕様となっております。そのため「この事例は妥当である」と判断できるものだけを参考にするなど、最終的には歯科医師の皆様の判断のもとでご活用下さい。

Q：AIから提示された事例をそのままカルテに転記することはできますか？

A：転記したい事例をダブルクリックしていただくか、画面下部の[カルテに転記]ボタンを押下することでカルテに転記することができます。